

2025 年 9 月 16 日

各 位

会 社 名 三桜工業株式会社
代 表 者 取 締 役 社 長 竹田 玄哉
(コード番号：6584 東証プライム)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 松本 安生
総 務 本 部 長
(TEL. 03-6879-2622)

【データセンター事業】 コンテナ型データセンター用水冷モジュール製品の 開発と受注のお知らせ

三桜工業株式会社（登記社名：三桜工業株式会社、以下、「当社」）は、中期経営方針にて掲げております新事業の一つであるデータセンター（以下、DC）事業において、株式会社ゲットワークス（以下、「ゲットワークス社」）と協業し、コンテナ型 DC 用の水冷モジュールを新規開発し、受注いたしましたのでお知らせします。

当社は、本件以外にも国内の複数社からボールバルブ継手を複数量受注するなど、DC 事業として着実に実績を積み上げ始めております。引き続き、顧客の許諾が得られた範囲で、情報開示を行ってまいります。

1. 新規開発・受注の概要

当社は、コンテナ型 DC 運営を手掛けるゲットワークス社と共同で、複数メーカーの水冷サーバーに汎用的に対応可能な水冷ソリューションの新規開発を進めており、同ソリューション群の一つである当社の量産製品が、ゲットワークス社からの受注に至りました。

受注製品	水冷モジュール（SUS マニホールド、樹脂配管、ボールバルブ継手、ジョイント）一式
納入先	株式会社ゲットワークス

主な製品（守秘義務に基づき、一部製品の写真は実機とは異なります。）



SUS マニホールド



樹脂配管



ボールバルブ継手

2. 本件の背景・狙い

現行の水冷サーバーシステムのビジネスモデルは、水冷サーバーメーカーがサーバー、冷却システム機器、水冷配管などの全ての機器をサーバーラックに実装して顧客に納入する形態が主流です。そのため、ユーザーである DC 事業者には個別の機器やソリューションを自由に選定できず、DC 事業者によってカスタマイズが可能な従来の空冷サーバーのビジネスモデルとは大きく異なります。

今回の取り組みは、こうした制約に課題意識を持つ DC 事業者のニーズに基づき、汎用性の高いソリューションの提供を目指すものです。

3. コンテナ型 DC について（写真提供：ゲットワークス社）

コンテナ型 DC はビル型 DC と比較して設備投資額が抑えられ、工期も短縮できるため、日進月歩で進化する GPU や AI サーバーの仕様に、タイムリーに対応することが可能です。国内では水冷サーバー用の現実的かつ有力な DC インフラとして市場の拡大が見込まれています。

当社では、既存のビル型 DC に加えコンテナ型 DC 向けの水冷モジュールも製品ラインアップに加えることで、さらなる事業拡大を図ってまいります。



コンテナ型 DC の外観



コンテナ型 DC の内観

4. 業績への影響

本件が 2026 年 3 月期の当社連結業績に与える影響については軽微であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示を行います。

以上